

令和2年5月22日（金）
福井工業大学附属福井中学校・福井高等学校の生徒の皆さんへ
校長 佐々木栄秀

【はじめに】

6月1日からやっと学校がスタートできます。5月7日から登校日として数日登校しておりましたが、いよいよあと10日で本格的にスタートします。

現在、私たち教職員は学校開始のための準備を行い、学生・生徒の皆さんが安全で安心して学校生活を送れるように万全の体制を整えているところです。新型コロナウイルスに対する衛生面はもちろん、皆さんの学習面および心のケアの対策に努めていきます。

学生・生徒の皆さんも、健全に学校生活を送れるように、精神面、体力面および学習面において十分準備をしておいてください。

なお、中学生の皆さんについては、1週間前の5月25日（月）から「慣らし」学習を始めます。クラスを午前と午後に分け、半日の授業をスタートさせます。給食はありません。特に新1年生、徐々に学校に慣れてください。

【福井県内の感染状況】

県内の感染状況については、新型コロナウイルスの封じ込めに成功していると思われます。医療従事者の方々の献身的な、懸命な努力により達成できている結果であると感謝申し上げます。県内では、4月29日に感染者がゼロになって以来、今日までの3週間新たな感染者は出ていません。今日現在、これまでの感染者122人の内、亡くなった方が8人、退院者が105人で、現在入院している方（重症・軽症等合わせて）が9人です。油断は禁物。

【緊急事態宣言が解除されたが・・・】

関東圏や北海道を除き、全国的に緊急事態宣言が解除され、一息ついた感があり、気分の緩みやほっとしている様子が見られます。しかし、実際には、「緊急的な」事態への宣言が解除されただけです。このウイルスは、死滅したわけではなく、他国の例を見てわかるように、いったんクラスターが発生すれば、1人の感染者が100人の感染者を生み、依然として感染力は強い。決して油断はできません。さらに、未だワクチン開発は程遠く、治療薬についても、いくつかの候補はあるものの、他の病気の薬を代用し、服用した患者が快方に向かっているだけで、未だに適切な治療薬は見つかっていません。当分、一人ひとりが、「新しい生活様式」にそって感染予防対策を続ける必要があります。専門家の中には、このウイルスとの戦いは長丁場になると考えている人もいます。

【感染予防対策】

これまでの3か月の新型コロナウイルス対策の経験で、このウイルスについていくつ判明したことがあります。「どのような状況が感染リスクを高めるのか」ということと「基本的な感染対策（人と人との接触削減、マスク着用、手洗いの徹底）が感染拡大抑制に非常に有効である」ということがわかってきました。学校でも、マスクの着用およびこまめな手洗いの励行を徹底するとともに、飛沫感染防止のため、身体的距離の確保（physical distance）を徹底し、教室での机の間隔を1メートル以上あけることや、大きな声で話さない、食事中には相手の顔を見て話さない、教員はフェイスシールドをして授業をするなどの方法を講じていきたいと考えています。

また、エアロゾル感染の可能性も指摘されています。病院では、回復傾向のコロナ感染の重症患者から人工呼吸器を外す時に、医者は細心の注意を払うそうです。患者から呼吸器をはずす際に、呼吸器が喉につかえ、患者が咳をしてしまうと、ウイルスが部屋中に霧のように舞い上がり、離れて作業をしている看護師ですら感染する危険があるそうです。万全の対策をしているはずの病院ですら感染してしまうのだそうです。院内感染です。ましてや、換気をしない密室で、大声で叫んだりするライブハウスでのクラスター発生は必然でした。したがって、教室はもちろん、体育館のような広い空間ですら、換気が重要であるということがわかります。夏にエアコンを使用する時ですら、換気が必要であると考えています。とにかく、教室の換気を徹底し、空気の流れを作ることを心がけていきたいと思えます。

接触感染の対策としては、多くの生徒が手を触れる箇所（ドアノブ・階段の手すり・スイッチ）を1日1回以上消毒します。また、物品の共有による接触感染を防ぐために、使用後には消毒をし、生徒にもこまめに手洗いを徹底します。ウイルスのついた手で、目や口を触らないようにすることも指導します。

【授業再開に向けて】

授業再開に向けて、生徒の皆さんへのお願いと学校の感染予防対策についてお話しします。

まず第一に、毎朝、自宅で検温および風邪症状（咳、強いだるさ、息苦しさ、咽頭痛、味覚障害等）がないことを確認していただき、体調がすぐれないときには自宅で療養していただきたいと考えています。なお、この場合の欠席は「出席停止扱い」とします。後日、書類を提出してください。

次に、登校についてですが、本校には中学校、高等学校および専攻科あわせて1800人を超える生徒が通学しております。学科ごとに登校時間を調整することにより、分散登校をしていただきます。また公共交通機関を利用する生徒も多く、3密を避ける行動を徹底してください。電車内でのマスク着用や会話を控えることに加え、JR福井駅からのバスについては、運行時間の変更や学

園バスなども使い、乗車人数を制限して登校していただきます。教員を配置しますので、指示に従ってください。

また、校舎に入る際には、サーモグラフィを作動させたり、教員が入り口に立って健康観察を行います。自宅で検温や健康観察をしていただくことが大前提ですが、入校時にもチェックしたいと思います。なお、発熱や風邪症状等がある場合には、自宅に帰っていただきますので、保護者の方のお迎えをよろしくお願いします。

さらに、教室の密を避けるために、7月末までは、当初の教室配置ではなく、大学の講義室を使うなどして広い教室に異動してもらうクラスがあります。机の間隔を1メートル以上あけ、生徒の皆さんを広く配置しながら授業を行いたいと思っています。

また、心のケアについてですが、先日生徒の皆さんにアンケートをとらせていただきました。休校中または現在、困っていることはないのかという問いかけです。教育担当教員や今年から本校に来ていただいている男女2人のカウンセラー、および担任、養護教員で、生徒一人一人の悩みを丁寧に聞いていきたいと思います。よろしくお願いします。

なお、授業再開の詳細については、本校のホームページでも別途紹介しておりますので、併せてご覧ください。

【県外生の県内への移動完了】

5月18日に、県知事から「県民行動指針（Ver. 4）」が発出され、この中で、「緊急事態宣言の対象地域などの他県との往来を自粛する」ことを求めており、本校では、5月17日に290人の県外生が県内に入りました。それまでも地元で自分の体調管理を十分していただき、健康な状態で福井県の来ていただき、保護者の皆様にも感謝申し上げます。県外からの生徒は、本校の寮および県内の宿泊施設で2週間の健康観察をしていただいております。前回の校長メッセージでもお願いしましたが、寮生の相部屋生活における感染リスクを避けるため、また、県内の感染拡大防止や新たなクラスターの発生リスクを避けるため、さらに県外生が安心して生活できるように、同時に県内生も安心して登校できるように、保護者の方々が安心して生徒を預けていただけるように、加えて、本校教員も安心して勤務できるように、ぜひご理解・ご協力をお願いしたいと思います。

本校の教員が宿泊し、体温・体調などの健康観察、学習面と心のケアのサポートおよび連絡等を徹底させていただきますので、ご安心いただきたいと思います。

寮やホテル等では、部屋から出るときにはマスクを着用し、咳エチケットを守り、不要不急の外出は避けることをお願いしています。部屋に戻ったら、丁寧な手洗い・うがいを徹底し、食堂などで食事をとるときには、密にならない

ように、食事時間をずらしたり、相対でなく横並びで座るなどの工夫をしています。

【授業スタート】

学校教育は、本来、教師から生徒への対面指導や、生徒同士の関わり合いを通じて行われるものであり、休校中、ビデオ授業や課題による学習をしてきましたが、やっと普通の授業ができます。教師が生徒の状況を把握し、生徒の顔を見ながら説明したり、質問したり、疑問に答えながら授業を進めることができます。しかしながら、例年に比べ時間が限られていますので、様々な工夫を凝らして授業を行っていきたいと思います。

つきましては、4月10日から5月6日までに授業が欠けた日数16日間を、夏休みの7月21日から8月1日までの期間（10日間）と8月17日から24日までの期間（6日間）で補充したいと思います。したがって夏休みは8月2日から16日までということになります。さらに、前期の中間考査を6月23日から26日まで、期末考査を8月25日から28日までと変更する予定です。なお、5月11日から31日までの期間の授業動画や課題学習を授業日としてカウントします。

加えて、生徒の家庭での授業動画のために、ご家庭で新たにWi-Fiやパソコンなどをご購入いただきました保護者の皆様には改めて感謝申し上げます。コロナウイルスの第2波・第3波が予想される中、いずれは、双方向による遠隔授業も新たに展開する予定です。十分活用していただけるものと思います。

【3年生野球部の諸君へ】

予想はしておりましたが、先日夏の甲子園大会の中止が正式に決定されました。人生ではこれからもいろいろなことが起こります。自分ではどうしようもないことがたくさん起こります。そして、その時に、逆境や不遇にいつまでも文句を言い続け、いつまでも立ち直れないのか、早期に気持ちを入れ替えて、新たな道を歩んで行くのかを決めなくてはなりません。高校生活や野球人生、人生そのものがここで終わるわけではありません。むしろ、まだ始まったばかりで、まだまだ続きます。次の目標に向かって頑張ろう。君たちが秋に惨敗し、冬の間、懸命に下半身を鍛えてきたことを誰かが見ていると思います。有名大学の野球部から声がかかるかもしれません。ここで腐っては人生に負けるようなものです。自分を奮い立たせて頑張ってください。

【最後に】

いよいよ学校が始まります。3月の期末考査から3か月。本当に長い休校でした。当面、体調管理・観察に努め、マスク着用とこまめな手洗いを徹底し、3密を避けるなど「新しい生活様式」を実践し、学校生活を楽しみましょう。

また、感染者や医療従事者への根拠のないデマや、誹謗・中傷、嫌がらせ・いじめは絶対にしないでください。他県で起こった不幸な事件ですが、地元へ帰省してから感染が判明した大学生が地元で感染を広げてしまい、SNS 上での誹謗・中傷や実家への投石や落書きなどを苦に自殺してしまったなどと聞くと胸が痛くなります。また、「自粛警察」とか「マスク警察」とかが横行しているというニュースを聞くと、日本人の心がすさんできているようにも思われます。「自分に誠実に、他人には尊敬の念をもって、そして信頼できる人間関係を構築する」ようにがんばりましょう。

コロナ感染の第2波・第3波が来るとのうわさもありますが、ウイルスが勝手に浮遊してやって来るわけではなく、誰かがウイルス運んでこない限り感染が広がることはないのです。一人の不注意が、学校全体・県全体のこれまでの努力を無駄にしてしまいます。私たち、みんなが気を緩めず、張りましょう。

皆さんにお会いできるのを楽しみに待っています。